



デジタル複数同時通話無線機

取扱説明書

BRIDGECOM X10 BM-X10

ブリッジコム エクステン

安全のための注意事項



火災や人身事故防止のため、電気製品は注意事項を必ずお守り下さい。

万が一、変な音・においがしたり煙が出たら、

1. 電源を切る
2. 火気から遠ざける
3. 問い合わせる



*お問い合わせ先は本書最後に記載してあります。

危険

万が一、電池の液漏れが起きた場合。

- ・ すぐに火気から遠ざけて下さい。漏れた液や気体に引火して発火、破裂するおそれがあります。
- ・ 液が目に入った場合は、擦らず、すぐにきれいな水で十分に洗い、医師の治療を受けて下さい。
- ・ 液が口に入った場合は、すぐに口を洗浄し、医師の治療を受けて下さい。
- ・ 液が身体や衣服についた時は、水でよく洗い流して下さい。

注意

必ずお守り下さい。

- ・ 高温・低温の場所に長時間放置しないで下さい。
- ・ 本製品は端子のゴム栓をしっかりと閉めた状態で完全防水となります。
- ・ 端子のゴム栓は、配線接続時以外は必ず栓をして下さい。ゴム栓がしっかりと閉まっておらず、端子から水や液が入り、水没させますと故障の原因になります。

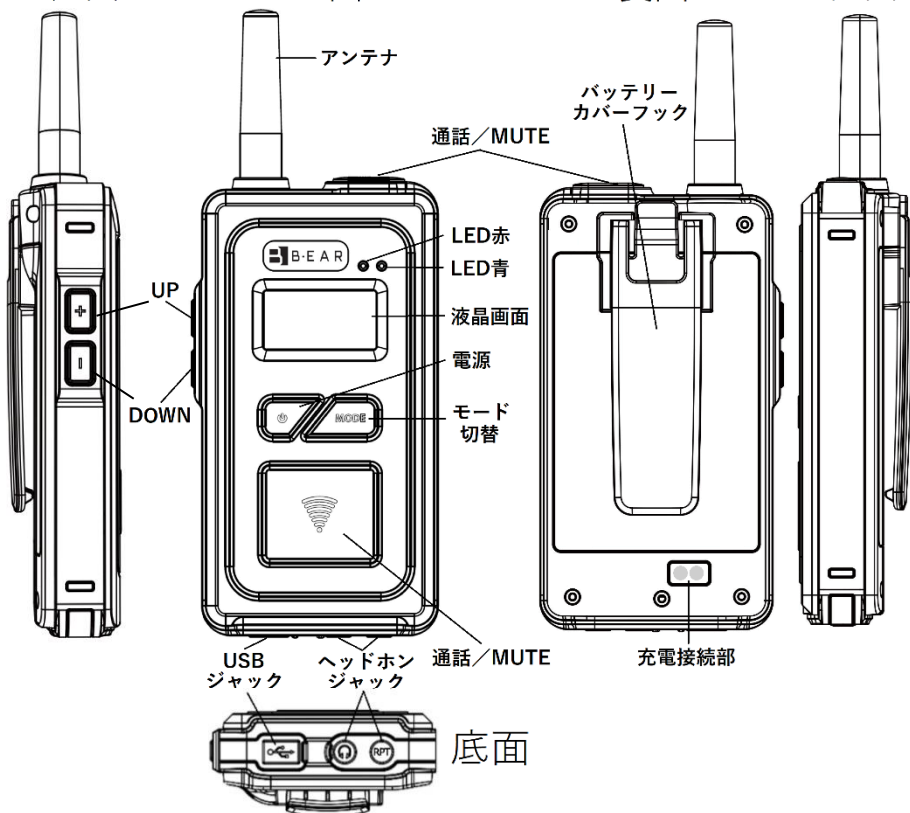
本体構造

左側面

正面

裏面

右側面



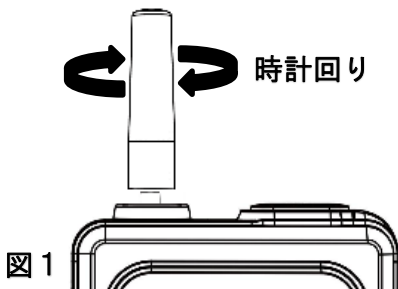
付属品

- ・取扱説明書（本書）

使用方法

1. アンテナ取付

アンテナを図1のように取り付けて下さい。



2. 電源オン/オフ

オン：電源ボタンを数秒間長押しし、液晶画面に図2が表示されたら、電源ボタンから指を離して下さい。
LED 青が点滅します。

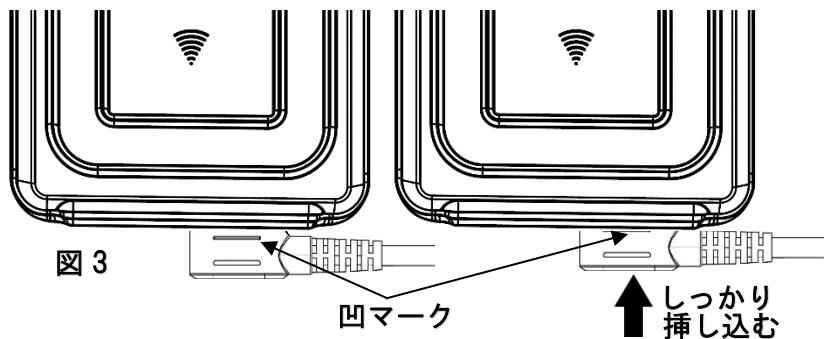
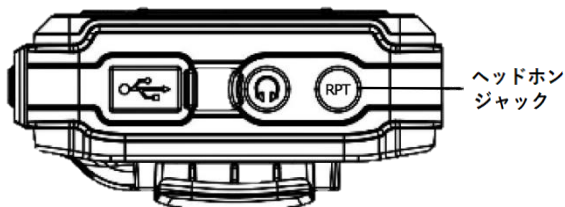


オフ：電源ボタンを数秒間長押しして下さい。液晶画面に、
Power Off!!!と表示され、電源がオフになります。

※ 電源オン状態で、30 秒以上ボタン操作をしないとパワーセーブ機能により液晶画面が消えます。いずれかのボタンを押すと再び液晶画面が付き、設定が可能になります。

3. ヘッドホンマイク接続

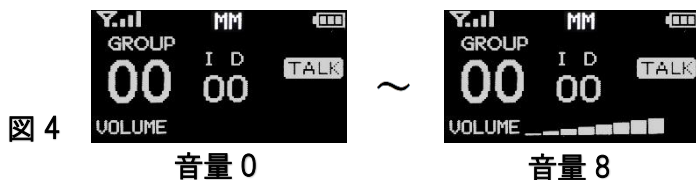
ヘッドホンジャックにヘッドホンマイクのプラグを図3のようにケーブルが本体の外側に来るように接続して下さい。



※ ジャックは防水性能を高めるためにかなり固くなっておりますので、凹マークが本機底面に来るまで、カチッとしっかり強く挿し込んで下さい。

4. 音量設定

UP/DOWN を押して音量を上下して下さい。音量は 8 段階です。



5. グループ設定 - 40 グループの設定が可能です。

モード切替を数秒間長押しすると液晶画面に図 5 が表示され、1. GROUP の番号が点滅するので、UP/DOWN を押して 00~39 を選択して下さい。

設定後、再度モード切替を長押しすると最初の画面に戻ります。



- ※ 同時に使用する機のグループ番号は、同じ番号に合わせて下さい。
- ※ マスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
- ※ サブマスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はサブマスターのアンテナを受信しているすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
- ※ 子機設定された本機を通信中に操作すると、設定操作中の本機のみ通信が切断され、同グループ内の機と通話ができなくなります。

6. ID 設定 - ID00 から ID10 までの設定が可能です。

モード切替を数秒間長押しし、1. GROUP の番号が点滅したら、再度モード切替を一回押しと図 6 が表示され、2. ID の番号が点滅するので、UP/DOWN を押して 00~10 を選択して下さい。

図 6



1. ID00 がマスターとなり、マスターを基点に同グループ内の他機と接続します。
2. ID01 はサブマスターとなり、マスターの中継役にもなります。
3. ID02~08 は子機となり、マスター、サブマスターまたその他の子機との同時通話が可能となります。
4. ID09 は何台でも設定することができ、ID00~08 と同時通話が可能となります。
5. ID10 も何台でも設定することができますが、傍聴のみとなります。
6. ID02~10 はマスターの電波受信時はアンテナマークの横に M と表示され、サブマスターの電波受信時は S と表示されます。最適な電波を自動受信します。

設定後、再度モード切替を長押しすると最初の画面に戻ります。

ID 設定後、図 7、8 のようにそれぞれ表示されます。

上部に MM と表示



ID00 マスター

上部に SM と表示



ID01 サブマスター

上部に FD と表示



ID02

～



ID08

上部に PD と表示



ID09

上部に RD と表示



ID10

図 7

図 8



マスターの電波受信時




サブマスターの電波受信時

- ※ 必ず 1 グループにつき、必ず 1 台 ID00 のマスター設定をしないと
同グループ内で通話できません。
- ※ ID 番号は 00～08 の番号を必ず 1 台ずつ設定して下さい。
同グループ内で ID 番号が重複すると正常に通話できません。
但し、ID09 と ID10 は除きます。ID 番号の設定は連番である必要
はありません。

- ※ ID09 と ID10 は何台でも設定できますが、ID09 で通話できるのは TALK 状態の 1 機のみとなり、ID10 は傍聴のみとなります。
- ※ マスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
- ※ サブマスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はサブマスターのアンテナを受信しているすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
- ※ 子機設定された本機を通信中に操作すると、設定操作中の本機のみ通信が切断され、同グループ内の機と通話ができなくなります。

7. サイドトーン（自分の声） オン／オフ

モード切替を数秒間長押しし、GROUP の番号が点滅したら再度モード切替を二回押しと  9 が表示され、3. SIDE TONE の ON が点滅するので、UP/DOWN を押して ON または OFF を選択して下さい。

設定後、再度モード切替を長押しすると最初の画面に戻ります。

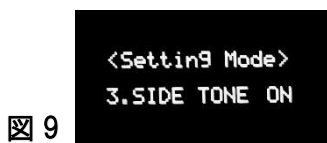


図 9

- ※ マスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
- ※ サブマスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はサブマスターのアンテナを受信しているすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。

- ※ 子機設定された本機を通信中に操作すると、設定操作中の本機のみ通信が切断され、同グループ内の機と通話ができなくなります。

8. マイク感度設定 - 通話相手への聞こえ方が変わります
モード切替を数秒間長押しし、1. GROUP の番号が点滅したら、再度モード切替を三回押しと図 10 が表示され、4. MIC GAIN の番号が点滅するのでUP/DOWN を押して1~8 を選択して下さい。設定後、再度モード切替を長押しすると最初の画面に戻ります。



- ※ マイク感度が高過ぎると音割れしてしまうので、使用環境に合わせて設定して下さい。
- ※ マスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
- ※ サブマスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はサブマスターのアンテナを受信しているすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
- ※ 子機設定された本機を通信中に操作すると、設定操作中の本機のみ通信が切断され、同グループ内の機と通話ができなくなります。

9. セキュリティコード設定 - 傍受防止機能

モード切替を数秒間長押しし、1. GROUP の番号が点滅したら、再度モード切替を四回押すと図 11 が表示され、4. SEC CODE の番号が点滅するので、UP/DOWN を押して 4 桁の番号を入力して下さい。番号は 0~9、A~F の 16 英数字から選択できます。設定後、再度モード切替を長押しすると最初の画面に戻ります。



- ※ 同じグループ内では、同じ 4 桁の数字に合せて下さい。
- ※ マスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
- ※ サブマスター設定された本機を通信中に設定操作すると、設定操作中はサブマスターのアンテナを受信しているすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
- ※ 子機設定された本機を通信中に操作すると、設定操作中の本機のみ通信が切断され、同グループ内の機と通話ができなくなります。

10. 通話方法 TALK オン/オフ

本機の電源を入れ、ヘッドホンマイクのプラグをヘッドホンジャックに挿し、グループと ID の設定が完了すると通話可能となります。

ID00～08 について

通話/MUTE を長押しすると TALK が消え、TALK オフになり傍聴のみとなり、再び通話/MUTE を長押しすると TALK が表示され、TALK オンになり通話ができます。

通話ボタン付のマイクの使用については、通話ボタンを長押しして TALK オン、または TALK オフになります。



ID09 について

ID09 は何台でも設定ができ、設定された本機が ID00～08 と同時通話できるのは、通話/MUTE を長押しし TALK オンとなった 1 機のみとなり、その他の ID09 で設定された機は傍聴のみとなります。再び通話/MUTE を長押しし TALK オフとなれば、その他の機も通話/MUTE を長押しすと通話可能となります。

本機上部の通話/MUTE は、押しながらの通話となります。

通話ボタン付のマイクの使用については、押しながらの通話になります。

ID10 について

傍聴のみとなります。

1 1. 通話音

下記の通知音で状態をお知らせします。

「ププ」 - TALK オンにした時

通話距離範囲に戻った時

「プププ」 - TALK オフを自分から外した時

通話距離範囲から外れた時

1 2. リセット - 初期化

電源ボタンと UP/DOWN を同時に長押しし、電源が落ちるとリセットされます。

1 3. バッテリー残量

液晶画面の右上にバッテリー残量が表示されます。連続通話時間は、満充電からおよそ 12 時間です。



80%以上



80~50%



50~20%



20~1%



1%以下

図 13

※ バッテリー残量が 1%以下(残り 7 分程度)になると、数分毎にプププとアラームがなります。

14. 充電

充電は専用充電器(品番 BM-X10cg)に、本機を直接挿し込むか、バッテリーカバーフックの先端部を少し手前に引きながら、押し外し、充電電池を取り出し、専用充電器に挿し込んで下さい。USB ジャックに USB 充電ケーブルを本機に直接接続して充電することも可能です。

充電中は充電 LED が赤く点灯し、充電が終了すると消灯します。バッテリーを使い切った状態から満充電までの時間は、およそ5～6時間です。

注意事項

1. アンテナは、奥までねじ込んで下さい。奥までしっかりねじ込まれていないと、正常に通話できません。
2. ヘッドホンマイクジャックの挿し込みが固いので、凹マークが本機底面に来るまで、カチッとしっかり強く挿し込んで下さい。
3. 通信中にマスター設定された本機を操作すると、設定操作中はすべての機の通信が切断され、通話できなくなります。
マスター設定された本機の通信中の設定操作はお控え下さい。
4. 本機同士は必ず 10 cm 以上離してご使用下さい。近づき過ぎると干渉してしまい、プツプツと途切れる症状が出る場合があります。
5. バッテリーカバー、ジャックのゴム栓が、すべてしっかりと閉まった状態において防水性能 IPX7 が適合しております。
閉まっていない状態で内部に液体・粉塵等が混入し、損傷が起こった場合は保証対象外となります。

仕様

周波数	ISM 2.407~2.476GHz
電波形式	GFSK - FHSS
定額出力	10mW
受信感度	-95dBm
音声CODEC	16bit/8KHz
チャンネル数	40チャンネル
動作時間	およそ12時間
電池容量	2000mA/DC3.7V 充電式リチウムイオン電池
サイズ	H123 x W67 x D31mm ※1
重量	180g ※2
防水性能	IPX7 ※3
動作温度範囲	-10~+60°C
認証	工事設計認証005-102376、FCC、CE

※1. サイズは最大値。アンテナ含まず

※2. バッテリー装着時

※3. バッテリーカバー、ジャックのゴム栓かプラグが、しっかりと閉まった状態にて

保証とアフターサービスについて

保証期間は、お買い上げ日から1年間(本体のみ)となります。

修理を依頼される際は、お買い求め頂いた先へご相談下さい。

品名：ブリッジコム X10
品番：BM-X10

株式会社ベアリッジ
お問い合わせサイト：<http://bearidge.com/>
電話：0569-89-7969

